【マクロ経済】

・ルサカ証券取引所、上半期の相場は上向き

ルサカ証券取引所(LuSE)は、全株式市場指数(LASI)が年初から6月時点までで31%増の20,214.88ポイントを記録し、上半期は好調な業績を記録(Daily Mail 7月4日)。

・ザンビア中央銀行、金準備高 3 億ドル突破

カリヤリヤ・ザンビア中央銀行総裁は、同行は現在2.8トン超の金準備を保有しているとした。国家資産の多様化と財政強化に向けた努力の賜物と評価した(Times of Zambia 7月8日)。

・ザンビアの債務 92%が再編

中間期経済・予算実績報告書によると、債務再編で債権者との原則合意は92%超を達成し、総額124億米ドルに到達(Daily Mail 7月25日)。

・堅調な GDP 成長は間近

政府は、鉱業分野の生産増加と債務持続性の向上により、中期的にザンビアが同地域の他国よりもGDP成長で優位に立つだろうと自信(Times of Zambia 7月25日)。

【エネルギー】

・Guoli Energy 社、カズングラに 1 億 5,000 万米ドル規模の火力発電所を建設

Guoli Energy Zambia社は、電力不足解消のため、1億5,000万米ドルを投じてカ

ズングラに135メガワットの火力発電所を建設予定(Daily Mail 7月1日)。

・燃料価格が更に下落

エネルギー規制委員会は7月の燃料価格の引下げを発表。一連の下方修正を記録し、ディーゼル価格も3か月連続で下落。クワチャ高と輸入税等の下落が主要因(Daily Mail 7月1日)。

・エネルギー省、1000MW 発電プロジェクトを検討

エネルギー省は本年12月までに1,000メガワットの追加電力を国家送電網に供給するための戦略的電力プロジェクトを策定(Times of Zambia 7月8日)。

・北部州ルフブで 163MW の発電増強

北部州でZESCOはLufubu Power Companyと25年間の電力購入契約を締結。163メガワットの基礎負荷に対応した水力発電を確保(Daily Nation 7月16日)。

・1,000MW 目標達成の鍵は代替エネルギー

国家送電網への1,000MW追加供給をするという大統領指令を実現するには、気候変動に強く、安定的に電力供給できる、水力、太陽光、風力、熱、その他再生可能エネルギーを組み合わせたエネルギーミックスが鍵であり、エネルギー管理を再考する時に来ている(Times of Zambia 7月21日)。

・地方電化庁、ルアブラ事業に 1 億 4600 万クワチャを支出

地方電化庁(REA)は2023年から現在ま

でに、ルアプラ州のエネルギー事業に 1 億 4,600 万クワチャを支出 (Daily Mail 7 月 23 日)。

・LPG 消費量、2024 年は 14,000 トンに急増

液化石油ガス (LPG) の消費量が急増。2023 年の 9,490 トンから 2024 年には 51.8%増の 14,400 トンへ (Daily Nation 7 月 23 日)。

【鉱業】

・世銀、ザンビアの鉱業政策を評価

世界銀行はザンビア新政権の鉱業に関する政策は、民間セクター等鍵となるステークホルダーを関与させ良い結果をもたらしているとして評価 (Daily Mail 7 月 3 日)。

・CF 党、カフエ川の汚染、WHO の基準値をはるかに上回る

Citizens First 党のカラバ党首は、最近のカフエ川の水サンプル分析において、24 種類の重金属が検出され、そのうち 16 種類が WHO の許容値を超過していると警告 (Daily Nation 7 月 3 日)。

・ムンブワの鉱山、2,500 人を雇用

ヒチレマ大統領は、中央州ムンブワ郡で最近稼働を開始したキトウンバ鉱山は、地元住民 2,500 人の直接的及び間接的な雇用を創出していると述べた (Daily Mail 7 月 21 日)。

・FQM、第 2 四半期に 3 億 5100 万ドルの利益計上

ファースト・クオンタム・ミネラルズ (FQM) は、第 2 四半期の粗利益は、強固な銅と金価格に支えられ、前期比 6%増の 3 億 5100 万米ドルと表明。 (Daily Mail 7 月 25

日)。

・モパニ銅鉱山 (MCM) の復興、成果を上げる

モパニ銅鉱山 (MCM) 取締役兼インターナショナル・リソース・ホールディングス社 (IRH) COO は、IRH による多額の投資に加え、サプライヤー及び請負業者への支払い遵守により、MCM の復活は国の経済に利益をもたらしていると述べた (Daily Nation 7 月 25 日)。

【インフラ】

・北西部州大臣、大統領令に基づき支線道路の工事強化を指示

北西部州大臣は、大統領令に基づき、州内全ての地方自治体に対し、様々な首長領につながる支線道路を整備するよう指示 (Times of Zambia 7 月 21 日)。

・水資源開発・衛生省及びザンビア統計局、覚書に署名

水の安全保障の強化及び清潔で安全な飲料水へのアクセス確保のため、水資源開発・衛生省とザンビア統計局が覚書に署名 (Times of Zambia 7 月 23 日)。

・ルカサ道路、40km の改修工事中

ルカサ市内では約 40 km の道路が 18 億クワチャ超で改修工事中。 (Daily Mail 7 月 24 日)。

・中国河南省、PPP による主要道路プロジェクトに注目

中国の建設会社、中国河南国際合作集団有限公司は、PPP (官民パートナーシップ) 資金調達モデルに基づき、ザンビアの主要道路プロジェクトに注目。Mkushi-Silangwa 間及び Kapiri-Mposhi-Serenje 間の道路を含む (Daily Mail 7 月

26日)。

・政府、ルサカ市に23億クワチャの下水処理施設を建設へ

政府はルサカ水道衛生公社を通じ、2026年にングウェレレとチュンガに23億クワチャを投じて2つの最新式下水処理場を建設開始予定。欧州投資銀行及びドイツ復興金融公庫との協調融資(Daily Mail 7月27日)。

【対外関係】

・国際見本市が開幕

第59回ザンビア国際見本市が開幕。1,000社を超える国内外の出店者が参加登録。「イノベーションと貿易を通じたビジネスの強靱性強化」をテーマに開催される(Daily Mail 7月2日)。

・ヒチレマ大統領は日本の投資家を誘致

大阪・関西万博においてシクンバ観光大臣は、ヒチレマ大統領を代弁し、成長するザンビア経済の機会を活かすよう日本の投資家に呼びかけ、同国がビジネスに開かれた国であると強調(Times of Zambia 7月7日)。

・ザンビアと米国、二国間関係をリセット

ザンビアと米国は、トランプ大統領政権による外交政策の転換を受け、二国間関係をリセットすることで一致(Times of Zambia 7月10日)。

・ザンビア投資国際会議、ザンビアの主要な貿易プラットフォームとなる見込み

第1回目となるザンビア投資国際会議(IZIC)が、「合弁事業と連携を通じた世代を超えた変革的投資の推進」というテーマで開幕。今後、同会議はB2B、B2G

を戦略的に関与させる貿易・投資の主要な会議体となる(Times of Zambia 7月16日)。

・ザンビアとブラジル、農業・バイオ燃料に関する覚書に署名

ザンビアとブラジルは持続可能な経済発展のために、農業、畜産、バイオ燃料生産分野における協力強化を目的とする覚書に署名(Daily Mail 7月19日)。

・65社がザンビア経済に3億4,000万ドルを投入へ-UNIDO

UNIDO(国連工業開発機関)はザンビアの65以上の投資家が、同国経済に約3億4,000万米ドルの投資を計画し、約4,000の雇用が創出される旨述べた(Times of Zambia 7月21日)。

・ザンビアの種子産業、地域のパワーハウスへと成長

ザンビアの種子分野は、アフリカで最も競争力及び影響力のある産業の一つに成長。ザンビアは、大陸全体の食糧安全保障への主要な貢献者としての地位を確立(Daily Mail 7月23日)。

・英国の対外援助削減が明らかに、アフリカに大きな打撃

英国政府は、40%の対外援助の削減を発表。アフリカの子供の教育と女性の保健への支援が最も大幅な削減に直面(Times of Zambia 7月24日)。

・ザンビア・エジプト関係、経済外交の促進に重要

ンゾブ水資源開発・衛生大臣は、ザンビアとエジプトの二国間関係は、経済外交の促進に重要であり、投機機会につながっていると述べた(Daily Mail 7月25日)。(了)